

# 教育



士別の学校教育は、明治 32（1899）年に開校した士別尋常小学校（現在の士別小学校の前身）が始まりです。校舎は陸軍省によって建設され、屯田兵子弟教育のために開校した学校でした。明治 35（1902）年には、地域住民が資金を集め建設した中士別小学校が開校しました。その後、士別の各地区に開拓者が入植するにつれ児童数が増え、次々に小学校が開校しました。しかし、人口が昭和 36（1961）年に 41,218 人となりピークを迎えますが、その後、過疎化や少子高齢化が進み、児童数が急激に減少しました。各地区の小規模校では統廃合が進み、現在の市内の学校は、小学校 6 校、中学校 4 校、高校 2 校となっています。

